

## 造材寸法表(山梨森林管理事務所)

	樹種	採材寸法		用途	採材方針
		長級m	径級cm		
一 般 用 材	ス ギ ・ ヒ ノ キ	6.00	18~22cm	通柱材適材	1 ● 印の基準材を採材する。但し、曲り腐れ等により基準材が採材出来ない場合は打出しを行い、基準材を採材する。 2 柱材も前記と同様に採材する。また、直材及び柱径級であれば一番玉に限らない。 3 高品質材の採材は森林官または監督職員の指示を受けること。 4 長級に延寸を6~10cm加えて採材すること。 5 市況動向に応じ、採材を変更する場合がある。  (留意事項) 1 槿積みにあたっては、木口を揃え、荷崩れ防止の措置を講ずる。 2 低質材とは、一般材として利用される見込みがない原料材及び低質材をいい、曲り・木口割れ・又は引抜け、目廻り等が一つ以上該当することをいう。 なお、原材料とはパルプ等の原料として利用されるもので、低質材とは原材料以外の利用価値の低位のものをいう。
		5.00	18~22cm	//	
		● 4.00	8cm上	構造材	
		● 3.00	16~22cm	柱材等	
		2.00	20cm上	板割・構造材	
	カ ラ マ ツ	4.00	14cm上	構造材等	
		3.00	14cm上	柱材	
		2.00	20cm上	構造材	
	ア カ マ ツ	4.00	22cm上	構造材	
		5.00	22cm上	梁材	
		6.00	22cm上	梁材	
		7.00	22cm上	梁材	
		8.00	22cm上	梁材	
	低質材	その他N	● 2.00~4.00	8cm上	